

# 医科と語れる歯科漢方 Specialist 養成講座 参加者感想

池田 聡子 先生 女性 44 歳 勤務医

『医科と語れる歯科漢方 specialist 養成講座』に参加して。

私は日本歯科東洋医学会会員になって日も浅く、全くの東洋医学についての知識も経験がありませんでした。しかし、日々の診療で、従来の治療法だけでは解決できない患者さんに接することが多くなり、何か解決の糸口になればと、東洋医学に興味を持ちました。そして、なんとかこれを実践したいと願っていましたので、参加には迷いがありませんでした。実際に参加した感想は、私にとっては「道場」でした。初回から症例発表を求められ、拙い私の発表に、小澤夏生先生をはじめ経験豊かな先生たちから、示唆に富むアドバイスをたくさんいただき、自分の至らなさを痛感しつつも、帰ってからすぐに自分の漢方治療に反映することができました。それを毎回続けることにより、自分一人では決してできないほど、以前に比べて漢方治療のスキルレベルを高めることができました。この場をかりて、小澤先生はじめ慶応大学の藤田康平先生、この講座に関わられた先生やスタッフの皆様にお礼申し上げます。これをきっかけに、漢方治療を日々の診療に取り入れ、患者さんに喜んでいただけるように精進してまいります。

---

佐藤 博 先生 男性 57 歳 開業医

今回のセミナーでは、小澤先生並びに諸先生方には、大変お世話になりました。まずお礼を申し上げます。

さて今回のセミナーに参加して私が一番感じた事は、漢方の奥の深さそして人間の複雑さでした。約 7 カ月間同じ患者さんに対して漢方薬を処方しその状況をセミナーで発表させていただきましたが、同じ漢方薬を処方しているのに引越しなどの環境の変化によって、薬の効きが悪くなったり下痢をしたりなど、今まで西洋薬を処方していた時には決して考える事のなかった『人そのもの』を見るようになった気がします。西洋薬を投与していた時は、痛みや腫れなどの現象のみを見ていたように思います。また今回はじめて臨床の場で漢方薬を使用しましたが、本セミナーで、その購入の仕方から使用日数および他の薬剤との飲み合わせやアレルギーまで懇切丁寧に教えていただき本当にありがとうございました。今後も臨床の場で生かしていきたいと思っております。

月岡 克郎 先生 男性 59歳 開業医

「医科と語れる歯科漢方 Specialist 養成講座」に参加させていただきました。

小澤先生、学術の先生方、事務局の方々のおかげで楽しく勉強する事ができました。ありがとうございます。

漢方の7方剤は保険適応になりましたが、いままでは「保険の壁」みたいなものを意識していて、漢方の講習を聞く機会がたびたびあったにもかかわらず、処方する事が少なかったなので、参加させていただきました。

今回、1回目の講習を受けた時に、参加されている先生方のレベルの高さに驚かされました。私の様な者がついて行けるのかと思っていましたが、小澤先生の分りやすく、丁寧な講義のおかげで、最後まで参加させていただく事ができました。本当にありがとうございます。

これからは診療に役立てる事ができると思います。特に不定愁訴のある患者さんには、喜んでもらえると思っています。

今は症状をみて、処方を考えていますが、証をみて処方できる様になりたいと思っています。これからも勉強を続けて行きますのでどうぞよろしく願いいたします。

---

西村 隆久 先生 男性 60歳 開業医

小澤先生はじめ日本歯科東洋医学会の先生方、大変お世話になりありがとうございました。お陰様で5回コースを終了することができました。5年位前より患者さんより口が渇くとか舌が痛い等の訴えがあると、自分なりに漢方薬を処方していました。はじめの頃はいわゆる著効の人もいたのですが、そのうち切れ味がにぶりなんとなく治療終了ということが増えていました。そのような折、歯科漢方 Specialist 養成講座の案内があり助け船に乗るような気持ちで参加を決めました。参加して再認識したのはやはり勉強不足と言うことです。証のとり方も未熟でその為に薬の効きが不安定だったようです。今回のコースで教えて頂いたことを、しっかり臨床に生かし、更に勉強を続けていきたいと考えています。

男性 51歳 開業医

平成 26 年 5 月から行なわれました漢方 Specialist 養成講座に参加いたしました。

午前には小澤夏生先生によるハイレベルな講義、午後は各自持ち寄った症例検討会形式で行われました。

難治性の口内炎や舌痛症など漢方薬によって寛解していく症例の発表があり今後の診療に希望が持てました。

東洋医学の深淵と漢方薬の魅力と難しさを 5 回にわたって思い知らされた講座でした。